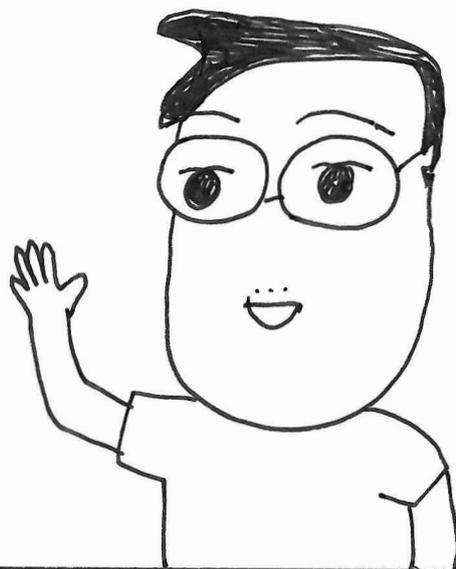


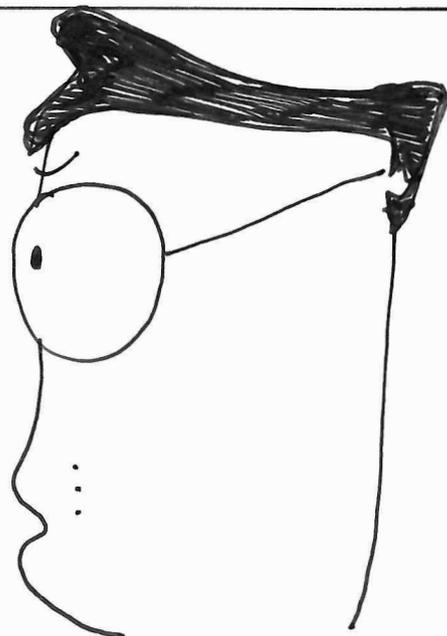
今日は、東京の豊州^{とよす}
からぼくに会いに女性
がやってこられた。もと
もとは築地の市場
をやってたそうだ。



カタカムナのオワ首の
表と裏のカタカムナ
ウタヒの間にオウ首
のウタヒをはさんで枕
の下に置いて寝ていたら



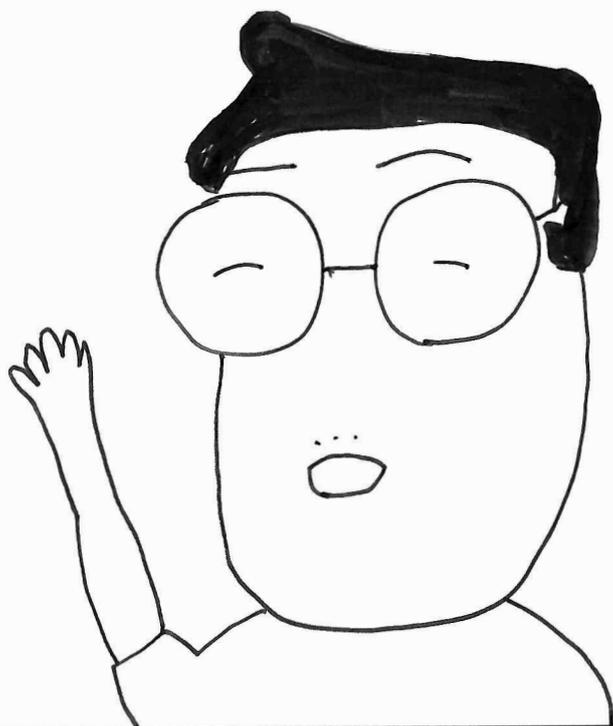
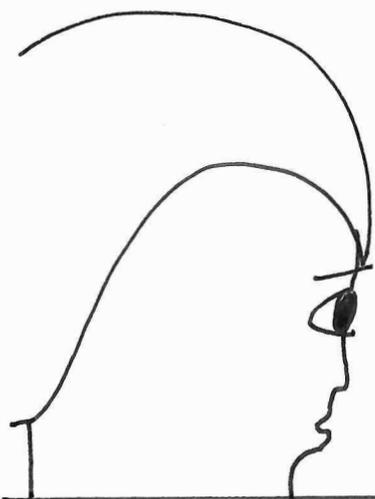
寝てたら・・・



ゴーゴーって金属が
こすれるような音
がしたんです。

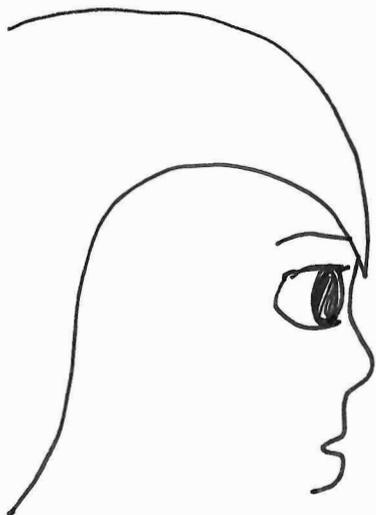


あゆせたのが良く
なかつたんでしょ
うか？

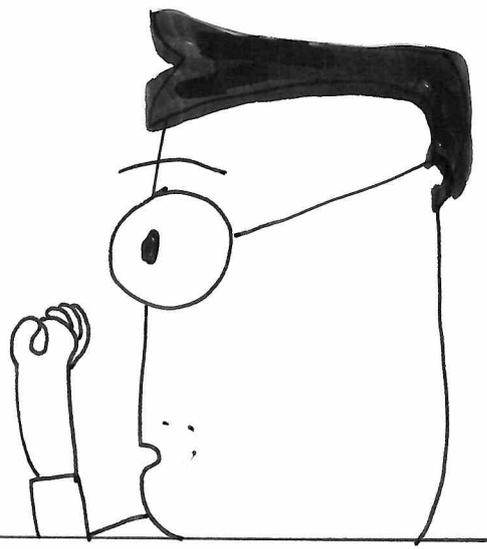


せんせん そんなことない
ですよ。でもカタカム
ナのパワーはすごい
で音がする事だ
ってありますよ。

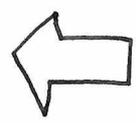
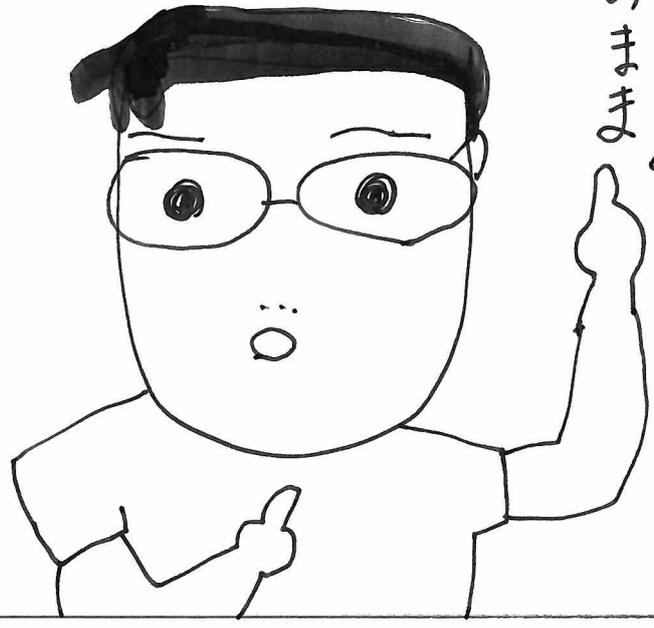
私にもカタカムナ
を見せてくれま
せんか。



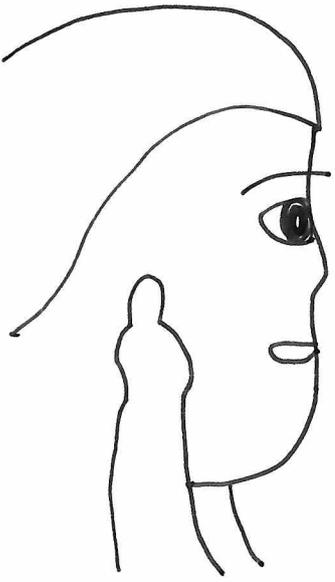
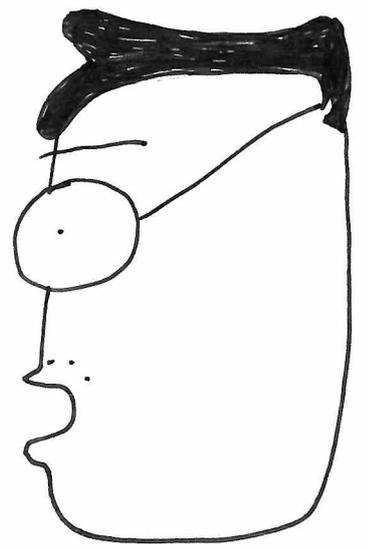
オツケーです。
まずはほくと
同じ格好をして
!!



そして軽く目を
閉じます。深女熱力は
そのまま。



セフミニョイ…
を何回もとなえ
ましよう。





すると彼女の何倍も
大きいみろくほさつ
さんがあらわれたのです。



存在があらわれ彼女
とともに東京に帰ら
れました。

そのあと何体もの高次元の

